

第2Qが始まり、2週間強が経ちました。日に日に暑さも増していますが、第1Qと変わらず、水分補給と帽子着用を守って、スナックタイムや昼休みにはほぼ全員がボール遊びや虫取りに運動場や体育館に出ています。また、子どもたちの授業やクラスでの盛り上がりの熱量は、外の暑さ以上に熱いです。色々なことに気づき、疑問を持ち、深く考えながら学習に取り組んでいます。こちらの発言に対しても、「なんで？〇〇だったらどうするの？」や「でも先生、〇〇だったら△△じゃない？」と聞かれることも非常に多いです。そのため、私も毎日全力で子どもたちにおつかり、向き合いながら日々を過ごしています。この3ヶ月半、そういった毎日を送ることで、私自身も自分の言動を深く考え、振り返るチャンスももらっています。今後も先生と児童というはっきりとした上下関係の立場だけでなく、時には先輩後輩ぐらいの上下関係になるなど、関係性を調整しながらともに学校生活を送っていこうと思います。

学級活動～苦手な授業～

子どもたちは、苦手や嫌なこととどう向き合えばいいのか。他の授業での取り組む姿勢に課題があったという報告を受けたことをきっかけに、1度子どもたちと話し合ってみようと思い、学級活動として「苦手な授業」について話し合いました。「苦手な授業ってある？それはなんで？」という問いかけに対して、下記のような意見が出ました。

- ・音楽：歌が苦手で綺麗な声が出せないから
- ・英語：初めて勉強して慣れていないから
- ・社会：人との会話が下手
- ・考える技：頭で動かすのが苦手
- ・算数：短い時間でたくさん問題を解くのが難しい
- ・道徳：想いを文字に表せない
- ・探究：深く考えるのが苦手
- ・図工：絵のセンスがないし、失敗も多い

全員があげたわけではなく、「苦手な授業はない」という意見を出した子たちもいました。そこから「苦手なことに対してどう向き合えばいいのか？」という問いかけに対しては、「先生に〇〇して欲しいと頼む」「苦手な教科のプリントをやる」「人一倍頑張る」という意見が出ました。ただ、私にはどうしてもそういった前向きすぎる意見が、綺麗事や本当に苦手な子に対しては難しいものだと感じたため、「苦手とか嫌なものに対してそんなに頑張ることってできる？」と聞き返しました。そうするともう少しハードルが下がり、「ちょっとずつやる」「みんなで助け合う」という意見や「できることをやる」という意見が出ました。

子どもたちに最後に伝えたのは、「できないことはいい。できないや嫌なことをできるようにするのは難しい。でもやらないことはだめだと思う。人と同じになる必要はなくて、自分ができるところをやればいいんだよ。」と伝えました。その考えには子どもたちも共感してくれたように思います。

今後も子どもたちには、「Equality 平等」なサポートではなく、「Equity 公平」なサポートをしながら、苦手なことから逃げずに向き合ってもらえるよう、一緒に頑張っていきたいと思います。

理科～ゴムの働き～

先週の「風の働き」に引き続き、今週の理科の授業では「ゴムの働き」について学習しました。まずは、ゴムが材料として使われているものについて話し合い、ボール、水筒のパッキン、ヘアバンド、タイヤなど、生活との関係性を確認した上で授業をスタートしました。次に、輪ゴムの取り扱いについて、引っ張りすぎない、人に向けない、手に巻いたり遊んだりしないという安全性や注意点について確認した上で、実際に輪ゴムを使って引っ張りたり縮めたりしながらその特徴を確認しました。ただ触るだけでなく、気がつくことがないか考えながら扱うように伝え、**「伸ばすと手に力がかかる」「伸ばすと元に戻ろうとする」**という意見を出し、それぞれがゴムの働きにしっかりと気がついていました。

授業のメインである実験では、「ゴムの力でどうすればものを遠くまで動かせるのか」について、先週同様おもちゃの車を動かしました。ゴムを伸ばせば伸ばすほど、戻る力が強くなって車が遠くまで動いていくことにしっかりと気がついていました。今後も表面上の知識として頭の中で完結するのではなく、実験や体験を通じた実感と伴った知識やスキルの習得を目指していきます。

Nature Map プロジェクト～最終授業～

先週末には、Nature Map をご覧いただいた上での PMI チャートへの評価ありがとうございました。13日（火）の授業に間に合うよう、全12家庭の皆様からご提出いただいたことをとても嬉しく感じつつ、本当に感謝しております。お書きいただいた PMI チャートは縮小コピーをし、子どもたち全員に配付して読み合いました。何度も読み返したつもりでも漢字の間違いがあったこと、撮影した写真の画質等、課題については第2Qで作品を作成する際に、再度今回の評価を読み返して活かしていこうと思います。反対に気持ちや感想、また特徴を表現する際の子どもらしさを評価いただいている点についても、子どもたちと確認し、今後もそういった視点を活かしていこうと話し合いました。

19日（月）からは第2Qのプロジェクトを開始します。今回のプロジェクトを通して、プロジェクトという授業に対するイメージや流れといったことは経験できたと思います。問題解決や何かを誰かのために行動を起こすといった活動に対し、校内外で活動をしながら、また様々な教科で得た知識やスキルを活かして授業を進めてまいります。今後ともご協力お願いいたします。